

総合基礎科目	生活と社会					
看護学科	選択	1単位	講義	平成30年度	後期	1年次
臨床検査学科	選択					
科目名	文化とくらし Culture and Living					
担当教員	中本剛二					
目的	人間はヒトとして生物学的な存在であるとともに、文化的・社会的な存在でもあることを、日本および様々な地域の文化について知り・考えることを通じて理解する。					
目標	民俗学および文化人類学の知見に基づき、人生やくらしに関する事柄を取り上げながら、文化や社会が私たちの生活を成立させていることを理解する。また私たちのものの見方や考えかたを形成する文化や社会の力についても理解する。					
他科目との関連						
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	レポート	課題レポートの成績				0.6
	その他	講義に臨む姿勢および講義内課題（コメントペーパー等）の評価				0.4
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	特に指定しない。					
参考資料	必要な資料は配布するが、参考書として以下のものを挙げておく。 波平恵美子編『系統看護学講座 基礎分野 文化人類学』医学書院 2011年 市川秀幸ほか編著『はじめて学ぶ民俗学』ミネルヴァ書房 2015年					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	特に事前学習の必要はないが、講義の内容を日常生活での出来事と関連付けて考え、それらの出来事を文化や社会を意識しながら見る訓練をしてほしい。また、各回の授業内容は便宜的に分けたものであり、各要素とその関連については具体的事例を踏まえながらそのつど考える。					